

2021年12月5日(日)

日本キリスト教団 **久宝教会**

第64巻第36号(通算3264号)

教会設立 1959年6月14日

〒581-0072

大阪府八尾市久宝寺6丁目7-10

TEL 072-992-2131 FAX 072-992-2135

郵便振替: 00980-5-212130 「日本基督教団久宝教会」

【集会案内】こどもの礼拝: 毎日曜 10:15-10:30 何かお悩みがありましたらご遠慮なくご相談ください  
主日礼拝: 毎日曜 10:30-11:30 小さい子どもたちも、いつでも歓迎いたします。

しゅうほう

# 週報

教会標語

神様がすべての人と共に  
おられることを証ししていく教会



ホームページ「久宝教会」  
(ウェブサイト)

http://www.koinonia.or.jp/kyuhokyokai  
【連絡先(牛田)】090-9161-4027

kyuho-church@koinonia.or.jp

谷はすべて埋められ、山と丘はみな低くされる。曲がった道はまっすぐに、  
でこぼこの道は平らになり、人はみな神の救いを見る。(ルカによる福音書 3:5-6)



## 待降節 第2主日礼拝

《礼拝はインターネットで中継配信いたします。ホームページにてどなたでも  
ご視聴いただけますので、それぞれの場所で共に礼拝をしていただけます》

前奏(黙禱) AVE VERUM CORPUS (©著作権消滅)

招きの詞 ルカによる福音書 21章 28節

賛美歌 21-242番「主を待ち望むアドヴェント」(1,2節) (©JASRAC)

クランツ点灯のことば 点灯者

聖書 エレミヤ書 36章 1-10節

お祈り  
賛美歌 21-244番「キリストは明日おいでになる」(©JASRAC)

メッセージ 「神は人の手を通して働かれる」 牛田 匡 牧師

賛美歌 21-231番「久しく待ちにし」(©教団讃美歌改訂委員会)

聖餐 牛田 匡 牧師

共同のお祈りと、平和のあいさつ

賛美歌 524番「われらみ名により」(©著作権消滅)

主の祈り

献げ物 (\*)

派遣 21-91番「神の恵みゆたかに受け」(1節のみ) (©JASRAC)

祝福 牛田 匡 牧師

後奏 アーメン コーラス (21-40-6番) (©教団讃美歌委員会)

報告 (4頁をご参照ください)

《お隣と間隔をあけて、席にお座りになったままで礼拝にご参加ください》

\* 「献げ物(献金)」は参加費ではございません。

受付に献金箱がございます。ご用意のある方のみ、お献げください。

身を起こし、頭を上げなさい。あなたがたの<sup>a</sup>救いが近づいているからだ。

(脚注 a：直訳「贖い」)

### クランツ点灯のことば

神様、今私たちは 2 本目のろうそくを灯して礼拝をします。神様が長い間、一人一人を大切にし、守り続けて下さったことを、聖書は証あかししています。神様の約束は、必ず成し遂げられると信じます。どうぞ、全ての人々の救い主イエス様を、私たちの所に遣わして下さい。

### 聖書 エレミヤ書 36章 1-10節 (聖書協会共同訳©日本聖書協会)

<sup>1</sup>ユダの王、ヨシヤの子ヨヤキムの治世第四年に、次の言葉が主からエレミヤに臨のぞんだ。<sup>2</sup>「巻物を取り、私があるあなたに語った日から、すなわちヨシヤの時代から、今日に至るまで、イスラエルとユダ、およびすべての国々について、私があるあなたに語ってきた言葉を残らず書き記しなさい。<sup>3</sup>ユダの家は、私が彼らに下くだそうと考えているすべての災わざわいを聞いて、それぞれ悪の道から立ち帰るかもしれない。そうすれば、私は彼らの過あやまちと罪を赦ゆるす。」

<sup>4</sup>エレミヤはネリヤの子バルクを呼び寄せた。バルクはエレミヤの口述に従って、主が彼に語られた言葉をすべて巻物に書き記した。<sup>5</sup>エレミヤはバルクに命じた。「私は閉じ込められていて、主の神殿に入ることができない。<sup>6</sup>あなたは断食の日に行って、私が口述したとおりに書き記したこの巻物の中から主の言葉を読み上げて、神殿にいる民に聞かせなさい。また、それぞれの町から来るすべてのユダの人々にも読み聞かせなさい。<sup>7</sup>人々は主の前に願いを献ささげ、それぞれ悪の道から立ち帰るかもしれない。この民に主が語られた怒りと憤りが大きいからだ。」<sup>8</sup>そこで、ネリヤの子バルクは、すべて預言者エレミヤが命じたとおりに、巻物に記された主の言葉を主の神殿で読み上げた。

<sup>9</sup>ユダの王、ヨシヤの子ヨヤキムの治世第五年、第九の月に、エルサレムのすべての民、およびユダの各地の町からエルサレムに来ているすべての民は、主の前で断食することを呼びかけた。<sup>10</sup>バルクは主の神殿で、巻物に記されたエレミヤの言葉を読み上げた。彼は書記官であるシャファンの子ゲマルヤの部屋からすべての民に読み聞かせたのだが、その部屋は主の神殿の上の庭の、新しい門の入り口の傍かたわらにあった。



## 《先週のメッセージより》11月28日 待降節第1主日礼拝

こんにちただいま  
「今日只今を生きる」

牛田匡牧師

聖書：マルコによる福音書 13章 21-37節

今日から、クリスマスを待ち望む待降節です。「クリスマス」と聞くと、すぐにプレゼントやご馳走を連想してしまうかもしれませんが、新型コロナの大流行から迎える2回目のクリスマスとなる今回は、世界規模での物資の供給網の混乱から、様々な物が無かったり、値上がりしたりして、病気の感染を心配するだけでなく、生活必需品が今度どのようになっていくか、ということにも心配する必要があるようです。

世界的な混乱の中、「世も末」と言いたくもなりますが、そのような「世の終わり」についての考えは、大昔から世界中でありました。イエス様の時代にも、そのような考え方はあり、弟子たちがイエス様に「終末の時はいつですか。その時には、どんな徴候がありますか」と質問し、それにイエス様が答えたのが今回のお話です。イエス様の結論は「その日、その時は、誰も知らない」だから「気をつけて、目を覚ましていなさい」というものでした。

その一方で、聖書の中には「今が終わりの時です」(1ヨハネ2:18)とも、「主の日は、空き巣泥棒のようで、『もう来ていた』ということになります」(IIペトロ3:10・本田哲郎訳)とも記されています。日本語では「来臨」「再臨」と翻訳されている言葉の元々の意味は、「そばにいる」です。神様はやがていつか来られる存在なのではなくて、もうすでに私たちのそばに来ておられます。なぜなら、クリスマスの夜、最も小さくされた人たちの間に、最も弱い存在として神様がお生まれになってくれたからです。この世界を創られた神が、人間となって私たちの間にやってこられました(ヨハネ1:14)。クリスマスに生まれたイエス・キリストの姿、その言葉と振る舞いを通して、私たちは命の神を知ることができます(ヨハネ1:18)。そしてそのイエス・キリストは、十字架の死からも引き起こされて、今もなお私たちのそばにいて、私たちはそのキリストの中に、キリストと一体のものとして、日々にかかされています。

「『終わりの日』はいつ来るか」ということを私たちが心配しなくても、それももうすでに来ています。「神様は、誰のそばに一緒にいてくれるのか」ということを心配しなくても、もうすでに全ての人がか神様の中に生かされています。だからこそ、その事実にか気をつけて、目を覚ましていること。「今日只今」を生きるこんにちただいまことができるということに感謝して、私たちは今日もここから歩み出していきます。

毎週の「メッセージより」は、ウェブサイト等にも順次掲載されています。

ホームページ



Facebook



LINE 公式アカウント



◎ 先週の報告 11月28日 待降節第1主日礼拝

礼拝出席 大人5名 子ども2名 中継動画再生数 17回  
 献金 大人4,000円 子ども500円 感謝

◎次週 2021年12月12日(日) 待降節第3主日(降誕前第2主日) 礼拝

招きの詞 詩編 85編 9-10節  
 聖書 マルコによる福音書 1章 1-8節  
 メッセージ 「荒れ野からの声」水谷憲牧師  
 賛美歌 242番(©JASRAC)、6番(©出版局)、193番(©JASRAC)、234番(©P.D.)  
 礼拝はインターネットで中継いたします。

◎お知らせ

- ・今年度の「クリスマス献金」を集めています。献金先は、昨年度から引き続き、「関西学院大学神学部」「日本基督教団開拓伝道支援」「日本基督教団部落解放センター」「キリスト教在日韓国朝鮮人問題活動センター」「一般社団法人神戸国際支援機構」「生活困窮者支援」の予定です。それぞれの働きを覚えてお祈りください。
- ・このアドベントの季節に、怪我や病気などのために、入院や自宅で療養されている方々のために、お祈りください。
- ・本日の礼拝後に、今年度のクリスマスカードを手分けして久宝寺地域に配布する予定です(イラスト・デザインは さんが手がけてくださいました)。
- ・新型コロナウイルスの感染を予防するためにも、また他人に感染させないためにも、そしてまた医療崩壊をさせないためにも、教会堂に集まる形での礼拝にこだわらず、インターネットの中継配信を利用したご在宅での礼拝など、それぞれの方が参加しやすい形で礼拝にご参加ください。教会では換気やマスク着用など感染予防に留意しながら礼拝をいたしますが、教会にいらっしゃる際には、ご自身の体調にご注意いただき、検温、手指消毒とマスク着用、お隣の方との間隔をあけた着席をお願いいたします。「週報」や「メッセージ(全文)」はホームページからダウンロードしていただくことができます。



◎ 次週以降の行事予定

	メッセージ	行事
12/12	水谷牧師	(第3アドベント礼拝) (第二好意の庭クリスマス会・牛田牧師)
12/19	岡嶋伝道師	クリスマス礼拝 ユーカリスト
12/26	牛田牧師	歳末礼拝・誕生者祝福式 (前日25日にお弁当支援をするため、教会でのおにぎり支援はなし)
1/2	牛田牧師	新年礼拝・ユーカリスト

**クリスマスおめでとうございます**  
 見よ、おとめが身ごもって男の子を産む。  
 その名は「インマヌエル」と呼ばれる。  
 これは「神は私たちと共におられる」という意味である。  
 (マタイによる福音書 1章 23節)

クリスマスは神様の子イエス・キリストのお誕生をお祝いする日です。  
 日本ではサンタクロースが子どもたちにプレゼントをくれる日として知られていますが、その始まりは、その日をみんなが嬉しい気持ちで迎えられるように、プレゼントを贈るというものでした。  
 この世界を創られた神様が、私たちと同じ人間としてお生まれになりました。  
 それは神様が全ての人と共におられるようになるためでした。  
 クリスマスに生まれたイエス・キリストの光が、世界中の暗い所や寂しい所、小さい所に届きますように。  
 このクリスマスの喜びを、みなさんと一緒に分かち合えますように。

**【クリスマス礼拝 on Webのご案内】**  
**2021年12月19日(日) 10:30~11:30**  
 ウェブサイトにて無料中継配信(申込・登録不要)  
 (毎日曜 10:15~子どもの礼拝、10:30~礼拝を行っています)

日本キリスト教団 久宝教会 八尾市久宝寺 6-7-10 牧師 牛田匡  
 (久宝まぶねこども園・南側) 電話 (072) 992-2131 ホームページ